

教育環境の整備、企業誘致へ決意

中島栄美浦村長5期目就任インタビュー

5期目村政にあたっての抱負

村で一番大きな事業となる統合小学校建設について、2025年4月の開校を目指してしっかりと進めていきたい。村の将来を背負って立つ子どもたちの教育環境を整えることで、村の発展にもつなげていきたい。

少子化や高齢化といった問題にも取り組んでいく。村内では、22年度の1年間で出生数が80人を切ってしまった。急に増やしていくことは難しいと思うが、多くの人には選ばれる街づくり、子育てがしやすい環境づくりを目指したい。

さらに今後の圏央道4車線化を受けて、進出を希望する企業への受け入れ態勢を整えていくことも大切だと認識している。

地域の建設業者へのメッセージ

日ごろからのインフラ整備、そして災害への対応にも感謝申し上げる。地域の建設業者が活躍できるよう、入札などで柔軟に対応できる体制をつくっていききたいと思う。これからも高品質なものを作り、残していくためにご協力をお願いしたい。

統合小学校建設事業

村内には木原小、安中小、大谷小の3小学校があるが、2つ以上の学年をひとつにした複式学級ができてしまっている。それらを解消し、教育の格差をなくすために統合校の建設に動き出した。

総事業費が約36億円。校舎はRC造地下1階地上3階建て、延べ7500㎡規模となる。7月に臨時議会を開き契約の承認を得た後、9月くらいから建設工事に入る予定としている。

教室の机も教科書と一緒にタブレット端末を置く関係で大型化している。統合校では1～2年生が1クラスあたり80㎡、オープンスペースが31㎡。3～6年生64㎡、オープンスペースは47㎡と、平均より広く確保した。

統合校が完成する25年度以降には、移転し使用しなくなった3小学校(木原小、安中小、大谷小)について、委員会を立ち上げて跡地利用を検討していく。村民や関係者などから多くの意見をいただきながら、有効に活用できる民間企業や団体を模索していきたい。



統合小学校イメージ

統合小7月に事業者選定

4月の統一地方選挙で12年ぶりの選挙戦を制し、5期目の再選を果たした中島栄村長。5月の初登庁では、多くの支援者や職員が拍手で出迎え、村政への期待の高さが伺えた。中島村長は「村の大規模事業となる統合小学校建設がいよいよ始まる。子育て・教育環境の整備や福祉の充実、企業誘致などに取り組む」と決意を表す。総事業費36億円を投じる統合小建設は、7月中旬にも事業者を選定し、2025年度の開校を目指す。中島村長の5期目村政の取り組みを聞いた。



鹿島海軍航空隊の跡地整備

霞ヶ浦の湖畔沿いに位置する大山地区には、水上機の操縦訓練を行っていた旧日本海軍の部隊「鹿島海軍航空隊」の跡地が残っている。今年5月には内覧会も行われた。昨年には再整備に向けたクラウドファンディングでは、目標金額500万円のところ、多くの方から寄付を募り、最終的には1000万近くの支援をいただいた。保存と活用を取り入れながら、誘客につなげられるように整備を進めていきたい。



鹿島海軍航空隊跡地では再整備を計画

その他のインフラ整備について

圏央道の4車線化が26年度の全線開通に向けて進められている。周辺地域やインターチェンジ周辺においても、さらなるぎわいが期待される。県が整備を進めている国道125号の4車線化もさらなる事業推進をお願いしたい。

また村内に進出を希望する企業があれば、これからも受け入れに向けた準備を進めていきたい。安定した税収を確保するために、その下地を作っていくかなければならない。



初登庁には多くの支援者が集まり期待を寄せた

社会インフラ整備で美浦村の発展に貢献いたします

美浦村建設業協会

会長 久松 貴之

副会長 篠田 恭央 副会長 沼崎 康夫

- (有)石井土木 美浦村土屋1971-65
- (株)伊藤建設 美浦村大谷453-1
- (有)軽部建材 美浦村受領1920
- 栗山工業(株) 美浦村布佐1049
- (有)篠田工務店 美浦村興津1364
- 出戸土木(有) 美浦村土屋1977-10
- (株)沼崎商事 美浦村受領49-1
- 丸太建設(株) 美浦村木原1884-8
- (株)美浦クリーン 美浦村布佐1732
- (株)鈴生ハウジング 美浦村大谷1769-1
- (有)久松設備 美浦村土浦1592-1
- (有)鳶若 美浦村土屋1972
- 井上造園(株) 美浦村受領1430-2
- カンキ工業(有) 美浦村興津1081-5
- (株)ひかり 美浦村信太2801-6
- (有)大健コーポレーション 美浦村大谷293